

有楽町線小竹向原駅～千川駅連絡線工事

発注者 : (株)東京メトロ
施設所在地 : 東京都豊島区
調査見学時期 : 平成 26 年 7 月 30 日 (水)

工事概要

「小竹向原駅」は、東京メトロ有楽町線・副都心線および相互直通運転を行っている西武有楽町線が乗り入れる鉄道交通の要衝です。ここでは、線路がクロスしており、4 方面の列車が合流・分岐するジャンクションのような役目を果たしています。

本事業は、小竹向原駅から千川駅間に、和光市方面と新木場方面（有楽町線）を結ぶ連絡線を新たに設置し、練馬方面と渋谷方面（副都心線）、和光市方面と新木場方面（有楽町線）を結ぶ列車の運行経路の平面交差を解消するものです。この事業により、平面交差部における列車の通過待ちが解消され、遅延発生 の縮小、輸送障害時におけるダイヤの早期回復等、輸送の安定化を図れるようになります。

本工事では、営業路線でのトンネル拡幅を行う高度な施工技術を要し、さらに夜間の線閉期間の施工が多いため、確実な施工管理や各工種の施工時間の短縮が求められる非常に制約条件の厳しい工事です。その対策として紹介されたのは、①超高圧ウォータージェットによる既存躯体鉄筋を傷つけることの無い補強鉄筋挿入孔の切削、②バウアーによる連続地中壁の施工、③既設中床の吊防護、④既設側壁のワイヤーソー切断、⑤シールドトンネル工区での狭い敷地に対応するため複合円形断面のマシンの使用 等でした。また、地域住民の工事への理解を深めるため、PR ルーム（施工範囲全体模型、シールドマシン模型、写真展示、映像コーナーパネル展示、キッズコーナー）を設置し、大きな成果を挙げているとのことでした。

本事業計画では、平成 27 年度内の全線開通、平成 29 年度内の工事完了を目指して、工事を進めています。（GEC ニュース第 300 号より抜粋）